

勝山

城下

ガーデン

GUIDE
MAP



文豪谷崎がこよなく愛した城下町勝山。

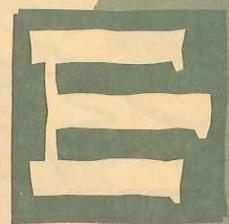
しつじりした風景が現代に生きています。

● 勝山駅
● 飯石
● 肴
● 鶏肉
● 濃厚味噌
● 焼き芋
● 焼肉レストラン
● すきやき

待つてみたい歩いてみたい日本の百か所「遊歩百選の町」

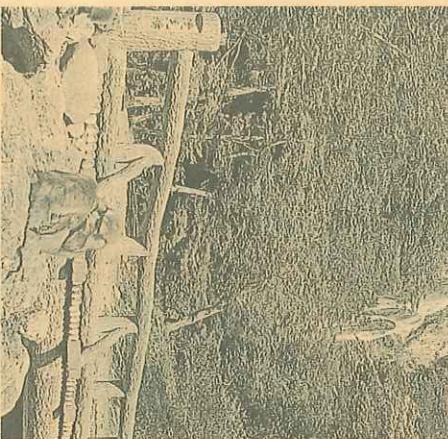
並み保存地

城下町 勝



散策ガイド

神庭(かんば)の滝



中国地方随一、日本の滝百選にも選ばれているこの滝は落差110m、幅20mというスケールの大きさを誇る。一帯には約200匹の野猿が棲み、訪れる人に愛嬌をふりまいている。

町並み保存地区

中国地方随一、日本の滝百選にも選ばれているこの滝は落差110m、幅20mというスケールの大きさを誇る。一帯には約200匹の野猿が棲み、訪れる人に愛嬌をふりまいている。

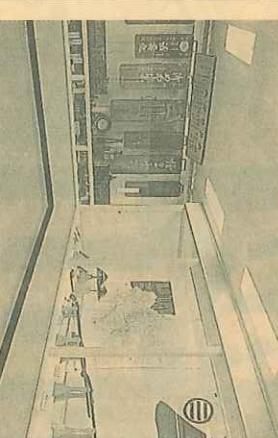
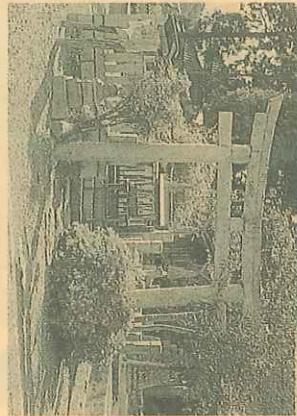
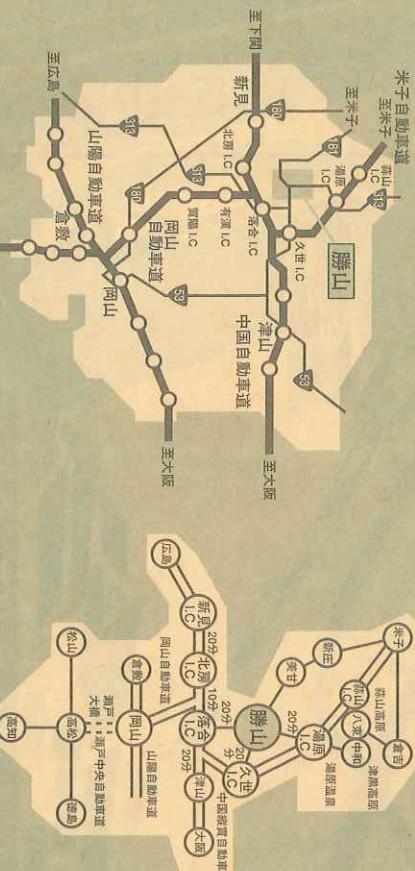
高田神社

久寿二年(1155)紀州熊野より勧請したもので、熊野大権現と呼ばれ地方民の厚い尊崇を受けた。明治四年神仏分離により日地名にちなんで高田神社と改められた。本殿は方三間造りで建築様式は江戸初期の神社建築の特徴をよく現している。

侍屋敷跡

格子窓や白壁の家々が並び、城下町のたたずまいを残すこの地区には、各家々の軒先にその家にちなんだれんが掛けられており、町並みに彩りを加えている。

勝山へのアクセス



て創建、宝暦元年(1751)城内に建立したが、のち三浦藩築城のため現在地に移す。本尊の聖観音は県重要文化財。(郷土資料館に展示)

武家屋敷館

時を偲ばせる。県下でこれだけ完全に残っているところは他にない。

郷土資料館

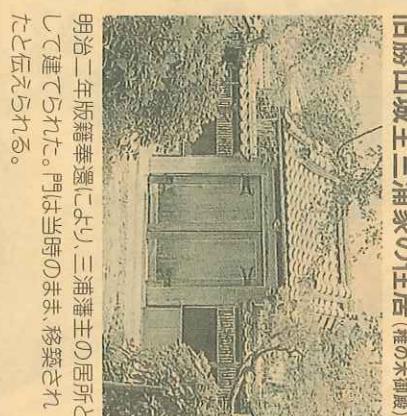
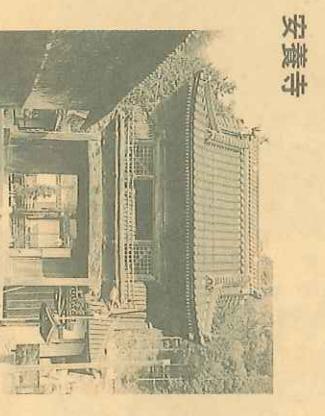
化生寺(かせいじ)と玉雲宮(たまもりぐう)

高田城主、三浦貞京公が明徳元年(1390)玄翁禪師を請して開基した曹洞宗の寺である。後、兵火に罹り焼失し、慶長三年(1598)に再建した。この化生寺の寺境内に有名な「殺生石」にゆかりのある「玉雲宮」をお祀りしている。

妙円寺

延文五年(1360)大覚大僧正の建立したものであるが、兵火により焼失、延亨二年(1445)再建した。日蓮宗の寺院では珍しい重層の建物で、方丈間に重層入母屋造り。特に堂宇の欄間の十六羅漢が見事である。

安養寺



大雲寺

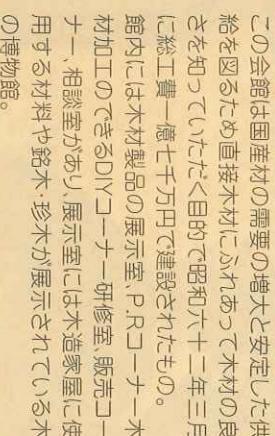
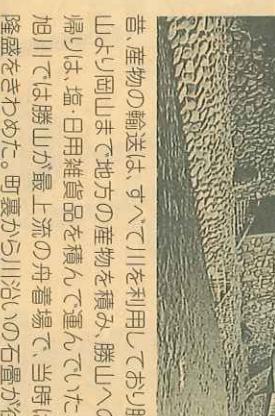
天文十五年(1546)本山證如上人法弟雙羽師の開基したものであるが、元文年間焼失し、同五年(1740)再建する。境内の松(雙翅の松)は推定樹齢三百年のものである。

明徳寺

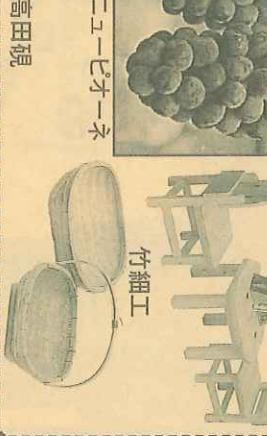
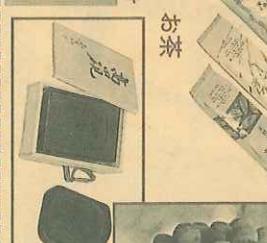
臨済宗大本山永源寺派に所属し、大本山永源寺開祖、寂室円応禪師誕生地記念寺として建てられた。門は当時のまま、移築されたと伝えられる。

高瀬舟発着場跡

明治二年版籍奉還により三浦藩主の居所として建てられた。門は当時のまま、移築されたと伝えられる。



勝山のお土産特産品



ご宿泊案内

●原田旅館	44-2323	26人収容
●民宿小山	44-3981	20人収容
●民宿船津	44-3097	30人収容
●サンボンスコルフクラブ	44-5500	30人収容

観光ガイドのご利用について

原則として10名様以上の団体には散策のご案内をする観光ガイドをご利用になります。予約が必要ですので、勝山観光協会へお申し込みください。(料金……3,000円)